

春植・株出の増加で収穫面積の拡大を推進しよう！

緩効性肥料で環境保全と経営の効率化を図ろう！

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
夏植	植付適期			分けつき									伸長期			成熟期			収穫期				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕うん・整地</li> <li>・ 植付溝に基肥施用 (BB880 二袋/10a)</li> <li>・ 土壌施肥剤を施用</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メイチュウ類防除 (スミチオン乳剤1000倍)</li> <li>・ 雑草の繁茂次第で除草剤 (茎葉処理剤) の散布</li> <li>・ 一回目の培土 (植付後二カ月目まで)</li> <li>・ 欠株の補植 (植付後一週間まで)</li> <li>・ 除草剤 (土壌処理剤) の散布</li> <li>・ 植付け (二芽苗 (前日に浸漬処理) を四千本/10a)</li> </ul>									<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワタアブラムシ防除 (スミチオン乳剤1000倍)</li> <li>・ チンチバツク・メイチュウ類防除 (スミチオン乳剤1000倍)</li> <li>・ 追肥施用 (BB880DX 四袋/10a) を施用</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畑かん地区ではかん水 (二五mm/週)</li> <li>・ 野ネズミ防除 (ヤンジオン (20g小袋) を二〇〇三〇袋/10a)</li> <li>・ 台風対策 (事前対策 排水路の点検、かん水施設の点検、格納庫の点検) 事後対策 ほ場からの排水、早目のかん水、倒伏株の引き起こし・土寄せ)</li> </ul>							

月	1	2	3	4	5	6
春植	植付適期			分けつき		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕うん・整地</li> <li>・ 植付溝に基肥施用 (BB880 二袋/10a) と土壌施肥剤を施用</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 追肥施用 (BB880 三袋/10a) を施用</li> <li>・ チンチバツク・メイチュウ類防除 (スミチオン乳剤1000倍)</li> <li>・ 雑草の繁茂次第で除草剤 (茎葉処理剤) の散布</li> <li>・ 中耕・培土</li> <li>・ 欠株の補植 (植付後四週間前後まで)</li> </ul>		
株出	株出管理適期					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株出管理直後の除草剤 (土壌処理剤) の散布</li> <li>・ 株元に基肥 (BB880 三袋/10a) を施用し、同時に中耕する。</li> <li>・ 心土破碎 (プラソイラー、サブソイラーを利用)</li> </ul>					

植付 (株出管理) 時期

作型	植付 (株出管理) 適期
春植	2月中旬 ~ 3月中旬
夏植	7月下旬 ~ 9月下旬
秋植	10月上旬 ~ 11月中旬
株出	収穫後1週間以内

**苗の準備**  
 植付前1日間程度、水または石灰水 (消石灰 500 倍液) に浸漬する。

**予備苗の準備と補植**  
 ・ 植付本数の 10 ~ 15 % の予備苗を準備し、欠株が生じたら補植する。  
 ・ 株出の場合は、株分けにより補植する。  
 ・ 側枝苗を予備苗として利用できる。

**メイチュウ類・ハリガネムシ類の防除**  
 植付時にはプリンスベイト剤かアドバンテージ粒剤 S を植溝使用する。  
 メイチュウ類防除は植付時と生育初期の防除を組み合わせる。

農薬名	使用時期	使用量	回数	メイチュウ類	ハリガネムシ類	備考
プリンスベイト剤	植付時	6~9kg/10a	1回	○	○	植付時か培土時のどちらか1回
	培土時	6kg/10a				
アドバンテージ粒剤 S	植付時	6~9kg/0a	1回	○	○	植付時か培土時の併せて2回
	培土時	6kg/10a				
オンコル OK	植付時	6~9kg/10a	1回	○	○	植付時か培土時のどちらか1回
	生育期	6kg/10a				
スミチオン乳剤	収穫45日前	1,000倍	4回	○		

中耕・培土

中耕	培土	
	1回目	2回目
雑草の繁茂程度を見ながら随時 (最低2~3回)	時期	仮茎長が 30 cm 程度
	培土の高さ	畦崩し~5 cm 程度
	時期	仮茎長が 50 ~ 70 cm 程度 (直前に追肥を施用することが効果的)
	培土の高さ	15 ~ 20cm

**株揃え**  
 ・ ハーベスタ刈り取り後1週間以内に行う。

除草剤の特徴

除草剤名	種類	10アール当たり使用量 (10アール当たり希釈水量)	使用時期	使用回数
カーメックスD水和剤	土壌処理	100 ~ 150 g (70 ~ 100%)	植付覆土後または培土後	2回
	茎葉処理		雑草生育期 15cm 以下 収穫 90 日前	
センコル水和剤	土壌処理	300 g (100%)	植付直後~植付 45 日後 (雑草 2 葉期まで)	1回
	茎葉処理	100 ~ 200 g (100%)		
アージラン液剤	茎葉処理	800 ~ 1000 ml (150 ~ 200%)	雑草生育初期 (雑草草丈 10 ~ 15 cm)	2回
2・4-D アミン塩	茎葉処理	300 ~ 500 g (100%)	植付後または株出管理後 30 日以降~雑草生育期 (収穫 90 日前まで)	2回

- ・ 「土壌処理」の除草剤は、土壌表面に処理層をつくり、雑草の幼芽や幼根が処理層に接触し成分を吸収させて枯らす。
- ・ 「茎葉処理」の除草剤は、雑草の茎や葉から成分を吸収させて枯らす。

施肥設計

(10a 当たり)

時期	春植		夏植		株出	
	肥料名	施用量	肥料名	施用量	肥料名	施用量
堆肥	2000 kg					
基肥	BB 880 号	2 袋	BB 880 号	2 袋	BB 880 号	3 袋
追肥	BB 880 号	3 袋	BB 880 号 DX	4 袋	BB 880 号	3 袋

**備考**  
 ・ 夏植の追肥時期が 2 月以降になるときは、BB 880 号を同量施用する。  
 ・ 地力や生育に応じて、施用量は調整する  
 ・ 春植では基肥のみ (BB 880DX を 5 袋/10a 施用) の施肥法もある。

品種の特性

品種名	品種のタイプ	株出萌芽性	その他の特性及び栽培上の注意点
N i F 8	—	良い	早期高糖、脱葉しやすい
N i 17	NiF8 に比べ茎数が少なく茎重が大きい	極めて良い	高糖、台風で折れにくい、干ばつに非常に弱い
N i 22	NiF8 に比べ茎数が多く茎重が小さい	極めて良い	早期高糖、台風で折れにくい
N i 23	NiF8 に比べ茎数がやや多く茎重が大きい	極めて良い	高糖、台風で折れやすい
N i N30	NiF8 に比べ茎数が多く茎重が大きい。	良い	高糖、台風で折れやすい

土づくり

夏植前の緑肥作物

作物名	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ソルゴー	は種○ <input type="checkbox"/> すき込み					
クロタリア	は種○ <input type="checkbox"/> すき込み					
ヒマワリ	は種○ <input type="checkbox"/> すき込み					
さとうきび (参考)	収穫期			植付期(復植)		

**深耕・心土破碎** 新植前に 60 cm 程度の深耕・心土破碎を行う。  
 (パワーショベル、サブソイラー、プラソイラーの利用)

**喜界町糖業振興会**  
**喜界町さとうきび生産対策協議会**  
**JA あまみ喜界地区さとうきび部会**

**問い合わせ先** 喜界町産業振興課 あまみ農業協同組合喜界事業本部  
 生和糖業株式会社 喜界事務所農業普及係